



王北通信

令和7年3月3日 第42号

<https://www.town.oji.nara.jp/kitagimukyo/communication/9787.html>



ある日の掃除の風景。それぞれ学年ごとの担当場所があります。後期課程の人が一生懸命そうきんで拭いている姿は、下学年の人たちの見本となっています。



体育委員会企画 昼休みの「だるまさんが転んだ」

5、6年の体育委員会の人たちが、昼休みに「だるまさんが転んだ」を楽しむ機会を企画してくれました。ルールの説明や掛け声、静止しているかどうかの判定を体育委員会が行い、参加者は全員でゴールを目指します。見ていると、ゴールを急ぐあまり、掛け声の後も思いっきり動いてしまっている人が結構いました(^-^)でも寒さを忘れてみんなで体を動かす楽しさを味わわせてくれた体育委員さんたち、ナイスな企画をありがとう！



地域みなさんに昔遊びを教えていただきました(1年生)

朝早くから多くの地域のボランティアのみなさんが北義務に来てくださり、1年生に昔の遊びを教えてくださいました。カルタ、コマ回し、けん玉、あやとり、お手玉といろいろな昔遊びを楽しみました。夢中になって遊ぶ1年生たちを、やさしい笑顔で見守ってくださるみなさんの姿が強く心に残ります。登下校をはじめ、北義務の子どもたちはさまざまなところで地域みなさんに支えられています。みなさんの温かさに包まれ、自然に温かくやさしい心が子どもたちに育ちます。



2年生の「命の教育プログラム」

1学期のうだ・アニマルパークでの遠足から始まった「命の教育プログラム」。2学期にも、うだ・アニマルパークの方に来ていただき、動物と人間との関わりや動物の命の大切さについて考えました。プログラムで学んだことを「いのちの作文」につづってくれた人たちもいます。今回がプログラムの最終回。でも「命」について考える学習はこれからもずっと続きます(^-^)



みんなも赤ちゃんだったんだね(^-^)

2年生の生活科の学習の一環で、養護教諭の逢阪先生に赤ちゃんのことを教えてくださいました。お腹の中での様子や見守ってくれた人たちなど、自分たちもそうだったんだと思いながら聞いていた2年生たち。最後には赤ちゃん人形をだっこするサプライズも。とても大切そうにだっこするみんなの姿が心に残りました。



立志式に向けて……

王寺北義務教育学校の発展期となる第8、9学年へと進級する7年生。その節目に当たりどのような志を、目標をもってこれからの2年間を過ごすのか、そうしたことを自分に誓い、これからも共に過ごす仲間と分かち合う機会である「立志式」。式に向け、自分たちでシンボルとなる王北龍をつくり、龍を舞わせる役割に立候補した人たちに認証書を手渡しました。7年生の志を乗せた王北龍が当日舞う姿を楽しみにしています。北義務の新たな歴史をつくる立志式となりそうです(^-^)



「いのちの作文コンクール」表彰式

命に関する学習で考えたことや普段から感じている命の大切さについてまとめた作品を出品する「いのちの作文コンクール」。本校からも多くの人が出品しました。入賞した人たちへの表彰式がうだ・アニマルパークであり、中学生の部で学校賞もいただきました。賞をもらったことより、多くの人たちが文章に自分の考えを綴ってくれたことの方が私はずっとうれしい。この通信を綴りながら心からそう思っています。みんな、ありがとう。よくがんばりました(^-^)

